

19

岡崎S邸

岡崎明大寺地区の住宅計画(2008年竣工)

Mr.S's Residence in Okazaki city

Residence Plan in myodaizi area of Okazaki city,
Constructed in 2008

デザイン学科・非常勤講師
Department of Design・Lecturer

野田 理吉 Rikichi NODA



南外観アプローチ空間



リビングダイニング空間

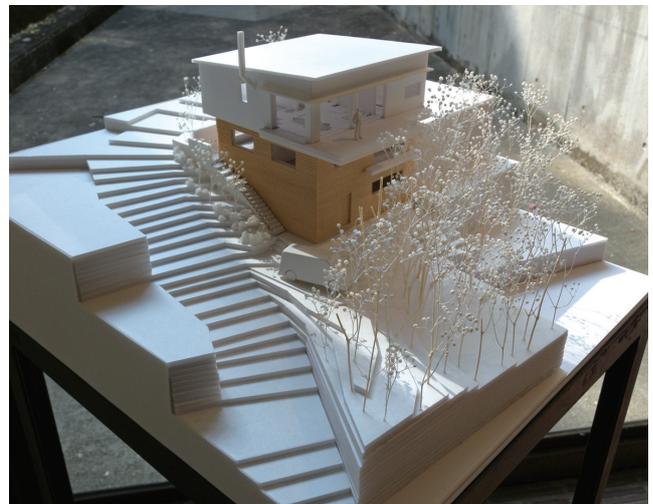
概要

名鉄東岡崎駅より徒歩4、5分に位置するこの場所は、岡崎駅前という都心部付近にありながら、隣接する神社や寺の鎮守の森などの緑豊かな自然環境の中にあります。計画地は北斜面の急な勾配の坂道の中腹にあり多くの雑木が残されていました。本計画は豊かな緑を出来るだけ残しながら、土地特有の傾斜を生かし、空中に飛び出して浮かんでいるような眺望デッキが特長の住宅計画です。敷地北側にパノラマ状に広がる美しい岡崎市街地の眺望が最大の魅力で、その眺望を楽しむためにすべて準備されました。

背後に連なる山並み、朝日夕陽に照し出され輝いている様々な建物、日没後のヘッドライトやビルのネオン、建物の窓の明かりなど終日街の様々な表情を楽しむことができます。また今季節は背後の山並みの表情も刻々と変化し非常に美しく、ひととき時間を忘れさせてくれます。

建築的な特長として、耐震の面から基礎、低層部分にRC構造を採用し、最上空間のリビングダイニング空間は木構造で計画しました。断熱、健康等の対策として、木構造部分は内外壁すべて木摺下地土壁塗りとし、RC部分の低層階は内部は木摺下地土壁塗り外部は木製ルーバーで覆い、その確実な効果をはかりました。岡崎城や乙川、国道や鉄道の往来や通過音、大小のビル建物群、街並や雑踏等を視覚的聴覚的に生活に取り込むため、2階にリビングダイニング、寝室、浴室等水回りなど生活の中心部を配置しました。1階は玄関、子供部屋等私室、和室等、傾斜を利用した地下に趣味の蕎麦工房等を配置しました。

北側の景色、敷地内雑木を生活の中心に据えた視覚的に解放されたプランが特長の計画です。



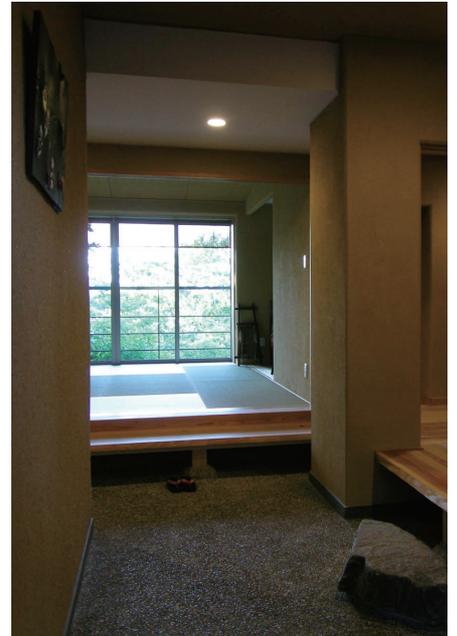
模型による全景/北東より望む



東側より建物を望む



玄関土間空間



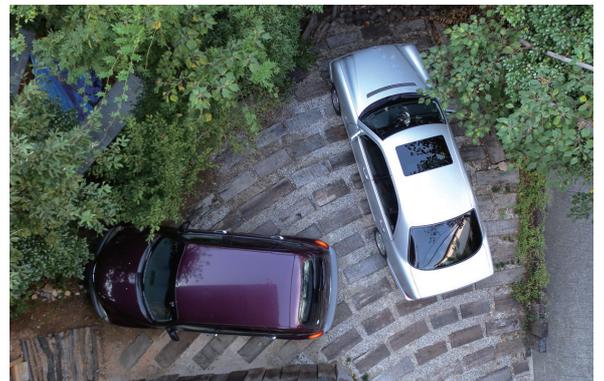
玄関空間／客間を望む



リビングダイニングより市街地を望む



玄関アプローチ



駐車場俯瞰